

スマート社会を牽引する 共創型X-Care課題解決 アーキテクト養成事業

- ① 課題設定と養成する人材
- ② 対象学生の義務
- ③ カリキュラム概要

情報学研究科 基幹情報学専攻

戸出英樹

事業概要： 対峙すべき課題

スマート社会実現に向けてのX-Care課題

大阪府市を中心に進められている
「大阪スマートシティ戦略」



スマート社会を実現するための
諸課題の総称

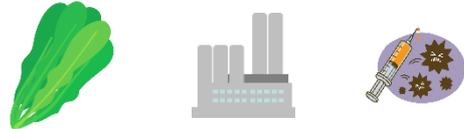
X-Care 課題

【人】 Human Health Care



- 超少子高齢化対策
- 健康レベル向上・負担費軽減
- 高齢者・生活弱者支援

【モノ】 Product Care



- 工業・製造業振興・支援
- 産業振興・支援
- 農業振興・支援

【社会】 Social System Care



- 行政・社会システム改革
- 教育システム改革・支援
- 将来のインフラ・防災計画
- 環境対策

【文化】 Culture Care

不健康な状態の予防、迅速な回復は社会的要請

X-Care課題を解決することができる人材を育成したい

【本事業で養成する人材】

- サイバー・現実双方の空間におけるあらゆる“人・もの・社会・文化”に対し、それらから取得可能な(1)様々なデータを収集・分析し、それぞれに最適な解を提供する課題解決人材を育成する。
- 人・もの・社会・文化に対する種々の不健康な状態の要因となる「X-Care課題」を多数のステークホルダーとの(2)共創活動により解決する仕組みをデザインする「共創型X-Care課題解決アーキテクト」人材を養成する。
- この背景の基づき、情報学を中心としつつ、自然科学・人文社会科学との連携を通じ、(3)学際的なアプローチにより社会課題を解決する能力が備わった人材を育成する。

【対象学生の義務】（その1）

（1）データ収集、分析、課題解決能力の向上

- X-Care課題解決に資する講義の受講

例： 情報学研究科より、ベースとなる講義の提供
社会課題の理解に即した講義 など

- 倫理教育

（2）共創活動により解決する仕組みをデザインする力

- スマート社会課題解決デザインコンテスト（アイデア発表会）
など

（3）学際的なアプローチにより社会課題を解決する能力

- 共創型共同研究機会への積極参画
（共創型共同研究、擬似産学官連携プロジェクト申請など）

【対象学生の義務】(その2)

(4) 博士人材の基礎的育成

- ① 研究計画書の作成(3年計画 & 単年計画)
- ② 研究進捗報告(達成度評価): 年2回

(5) トランスファラブルスキル

- 独創性、自由な発想、チャレンジ精神、ニーズ発掘力、研究マネジメント力、対話力、リーダーシップ力などの醸成
⇒ 大学院共通教育科目の履修 (TEC I ~ IV)
「学際科学コミュニケーション力演習」

(6) キャリアデザイン

- 長期インターンシップ(国内, 国外を問わず)
- インタラクティブ・マッチングやメンター制度によるキャリアパス形成

スマート社会 カリキュラム

【スマート社会】

赤字: 必修

区分	科目名・内容	ポイント(p)	必要ポイント	備考
研究基礎	研究計画書			2回/年の報告 1回目:書類審査 2回目:報告会(資格審査含む)
	ポートフォリオ			
研究専門群	情報系科目:「ビッグデータ解析」「機械学習構成論」 「確率統計学」「基幹情報学セミナー」	1科目=1p	2p	最大2科目(=2ポイント)まで加算
	共創型共同研究(スマート社会課題解決デザイン(or アイデア)コンテスト)	2p	2p	必修 D2修了までに受講完了
トランスファラブルスキル群	イノベーション創出型研究者養成(TEC I ~IV)	1単位=1p	2p	
	学際科学コミュニケーション力演習			
	その他:イベント、コンテストなど			
キャリアデザイン群	長期インターンシップ(国内/海外)	2p	2p	必修
	インタラクティブ・マッチング	1p		
	その他	各1p		
修了必要ポイント数			8p	

資格審査基準

D1修了時 2p以上

D2修了時 6p以上

D3修了時 8p以上